

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月 : 19 June 2002

**背景:** 抗血小板薬は、長期機能に関する転帰や生存に対してわずかではあるが有意義なベネフィットをもたらすため、急性虚血性脳卒中の標準的治療法となっている。抗凝固薬は、長期ベネフィットを得るには効果がないとのエビデンスはあるものの、代替療法として多く用いられている。抗凝固薬と抗血小板薬が直接比較され、抗凝固薬レジメンから抗血小板薬をしのぐ実質的な利点が患者全体または特定の患者カテゴリー(心房細動を有する患者など)にもたらされるか否かについて評価されている試験をレビューすることとした。

**目的:** a) 急性虚血性脳卒中において抗血小板薬との比較により抗凝固薬の有効性を評価すること、b) 抗血小板薬に抗凝固薬を追加することにより、抗血小板薬の単独投与をしのぐ実質的な利点が得られるか否かを評価すること。

**検索戦略:** Cochrane Stroke Group Trials Register、Cochrane Controlled Trials Register (Central/CCTR)、trials register held by the Antithrombotic Therapy Trialists' Collaboration、MEDLINE(1966年～2000年)、EMBASE(1980年～2000年)を検索した。いずれの検索も、2001年4月から5月にかけて実施した。

Copyright(c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care  
**選択基準:** 抗凝固薬と抗血小板薬が比較された、あるいは抗血小板薬を単独投与として抗凝固薬と抗血小板薬が比較され、虚血性脳卒中が疑われるかその発症から14日以内に投与された交絡のないランダム化比較試験。

**データ収集分析:** レビューに登録する試験を2名のレビューアが独立に選定し、試験の質を評価するとともにデータを抽出した。

**主な結果:** 4件の試験の合計16,558名の患者を解析の対象とした。4件の試験はいずれも研究の質が高かった。用いられた抗凝固薬は未分画ヘパリン(UFH)と低分子量ヘパリンであった。どの試験でも対照としてアスピリンが用いられていた。全体的に、長期追跡時での「死亡あるいは依存」の低減については、抗凝固薬の方がアスピリンよりも優れているとのエビデンスはなかった(オッズ比[OR] 1.07; 95%信頼区間[95% CI] 0.98~1.15)。アスピリンと比較して、抗凝固薬は追跡終了時点での死亡数のわずかではあるが有意に増加(OR 1.10; 95%CI 1.01~1.29)を示し、患者1000名あたり死亡数が20名多いことに相当した(95%CI 0~30)。症候性頭蓋内出血リスクは有意な増加(OR 2.35; 95%CI 1.49~3.46)を示し、投与期間中の「再発性脳卒中」リスクには非有意な増加(OR 1.20; 95%CI 0.99~1.46)がみられた。このような中立的効果や有害作用は、症候性深部静脈血栓症に対するわずかではあるが有意な効果を上回るものであり(OR 1.20; 95%CI 0.07~0.58)、アスピリンに代わって抗凝固薬を投与した患者1000名あたりでは14日間でDVTが10件少ないことに相当する(95%CI 0~30)。実質的ベネフィットに関連する抗凝固薬の種類、用量、投与経路、および心房細動を有する患者でのベネフィットをサブグループ分析から抽出することはできなかった。全体的に、UFHとアスピリンの併用投与から、アスピリン単独投与をしのぐ実質的なベネフィットが得られることはないようであった。サブグループ分析から、低用量UFHとアスピリンの併用投与では、アスピリンと比較して「再発性脳卒中」リスクにわずかに有意差を欠く低下が得られ(OR 0.75; 95%CI 0.56~1.03)、14日目での死亡リスクにわずかに有意差を欠く低下が得られ(OR 0.84; 95%CI 0.69~1.01)、追跡終了時点での死亡に対する明らかな有害作用はない(OR 0.98; 95%CI 0.85~1.12)ことが示された。

**レビューア見解:** 急性虚血性脳卒中では、抗凝固薬から抗血小板薬をしのぐ利点は得られることはなかった。サブグループ分析によると、低用量UFHとアスピリンの併用投与はアスピリン単独投与と比較してベネフィットが得られやすいと考えられるため、この利点に関する更なる調査が必要である。

**Citation:** Berge E, Sandercock P. Anticoagulants versus antiplatelet agents for acute ischaemic stroke. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2002, Issue 4. Art. No.: CD003242. DOI: 10.1002/14651858.CD003242.

**Clib issue No.:** 2005 issue 4

**CRG名:** Stroke

\* **ご注意:** この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。